



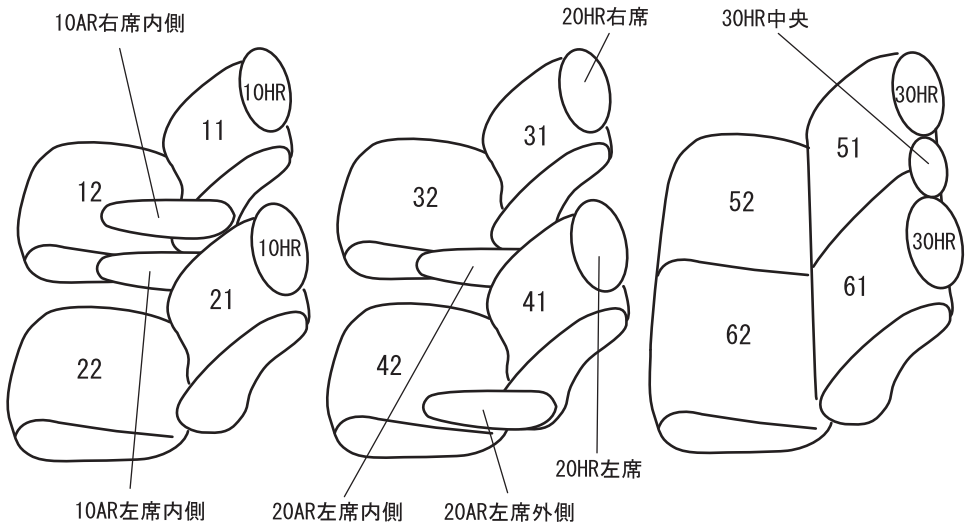
トヨタ ノア ヴォクシー

専用シートカバー取付説明書

この度は弊社製品をお買い上げ頂きまして、誠に有難うございます。

- * 説明書内にシートカバーの取付・取り扱い・返品等に関する注意事項等が記載されていますので、装着前に必ずお読み下さい。
- * 本書中の掲載写真はサンプル品を使用しているため製品とデザインは異なります。

本製品シート形状とパーツの名称



取付必要工具



工具名

- ① ソケットレンチセット
- ② ヘラ

シートカバー装着前に必ずお読みください

- 本製品が届きましたらシートカバーを装着される前に内容物を確認の上、必ずお客様のお車に仮合わせ（シートに装着せずに）して、お客様のシートパターンに合うことをご確認ください。シートカバーの各部品がどの位置かが分かるように、番号の入ったタグが商品の裏側に付いています。仮合わせの時点で、製品に何らかの支障があった場合は、お買い上げいただいた販売店、または弊社までご連絡ください。
事前に連絡が無く装着された後での、製品の返品・交換等につきましてはお受け出来ません。また、お客様の注文間違いによる製品の返品・交換等は、商品到着後1週間以内とさせていただきますので予めご了承ください。※カスタムオーダー、特注パーツ、受注生産品などは、装着前であっても返品や交換等をお受け出来ません。
- 梱包や運送の過程で本製品に使われている素材にシワができることがあります。正常に取り付けを行っていただくことで生地がなじみ、シワはある程度解消できますが、まれに跡が残る場合がありますので予めご了承ください。シワが気になる場合は、装着前にお買い上げいただいた販売店、または弊社までご連絡ください。
- 本製品は純正シートの機能（チャイルドシート固定フックやバックテーブル等）を損なわないように設計しております。（一部例外はあります）その為、背もたれや座面に穴開け加工をしているタイプのシートカバーがあります。
- 注文したものと違う商品が届いたり、製造上の不良または運送中に生じた内容物の破損がありましたら、ご購入された販売店までご連絡ください。商品を交換もしくは修理対応させていただきます。※交換対応商品が在庫切れの場合は多少お時間をいただく場合があります。予めご了承ください。
- 内容物に影響がない外装箱の破損、商品の細かい傷、シワ等は初期不良の対象外とさせていただきます。また装着後の商品は仕様違い及び初期不良を除き、返品・交換等致しませんので装着前に必ず確認等してください。また、装着時に加工等された商品に関しましても返品・交換等は致しませんので予めご了承ください。
- 座席への密着度が非常に高い設計となっている為、シートカバーの使用期間中に座席本体にダメージを与える場合があります。この点をご理解の上、ご使用ください。
なお、シートカバー装着に起因するダメージに対する補償は致しませんので、予めご了承ください。
例）座席本体に生じた傷、破れ、摩擦痕、シワ、ヘコミ、変形、変色、化学変化等

本製品に関する注意事項

- 本革やジーンズ等の染料を使用している素材や、新聞紙等の印刷物を長時間接触させると、本製品に色移りや本革等に粘着が生じることがあります。また衣類製品側にも色移りが生じる場合があります。
- 本製品を直射日光に長時間当てると、生地の表面が変化・変形・変色の原因となります。また、高温多湿の環境下では生地の硬化や収縮、カビが発生することがあります。
- 本製品は石油を原材料として使用しているため、臭いがかつく残る場合があります。装着されてから約1〜2週間で臭いは緩和されますが、気になる場合は本製品を換気の良い所に1週間程保管されてから装着してください。また本製品は塩化ビニールレザーを使用しています。燃焼時には塩化水素が発生します。廃棄される場合は個人で焼却せずに必ず自治体の処理方法に従ってください。

シートカバー装着時の注意事項

- 弊社のシートカバーはフィッティングを重視して設計しています。カバー全体に均一に力をかけるようにして、装着してください。またシートカバーを固定するパーツは強く引っ張りすぎると抜けたり切れる恐れがありますので、ご注意ください。
- ヘッドレストやアームレストといった小物類は、普通のシートに比べてカバーに負荷が掛かりやすくなっている為、カバーが破れないように慎重に作業を行ってください。
- シートカバーの背もたれ上部に加工しているヘッドレストの穴は、生地の種類によっては伸びにくいものもあるため、無理に入れ込もうとすると破れる恐れがあります。
- 取付説明書の順番通りにシートカバーを装着していただくと、作業がスムーズに進みますので、弊社では順番通りの装着をお勧めしています。またシートカバーの装着は明るく、地面が平らなスペースで行ってください。装着時に長時間車内のライト類を点灯状態（扉を開放されたまま等）にされるとバッテリーがあがったり弱まる原因となります。
- 製品の改良等により、本取付説明書の記載内容と一部製品の仕様が異なる場合があります。その際はご迷惑をおかけしますが弊社までお問い合わせください。
- 弊社のシートカバーは純正シートの機能を損なわないように設計していますが、シートカバーを装着することにより、シートにカバーの厚みが増す、カバー同士の摩擦が生じる等の原因で、シートの正常な動作を妨げる場合があります。
- 装着時（シート本体のパーツを取り外す場合等）及び、使用時に起きた車輛への損傷、車輛の不具合人体への怪我（シートカバー装着時に、シート本体の金属部分やプラスチック部分に接触する等して怪我をする恐れがあります）について、弊社では一切責任を負えませんので、十分に安全に注意し、装着を行ってください。

またいかなる場合でも商品代金と送料の合計金額を保証の上限とし、それ以外の保証は出来ませんので、予めご了承ください。購入に付随する、商品の交換、装着、取り外し等の工賃、装着等の不具合による工賃等の費用負担、交通費、遺失利益などの直接、間接の損害につきましても一切の責任を負いませんことをご理解ください。

「快適空間創造企業」



株式会社 イレブンインターナショナル

〒580-0016 大阪府松原市上田8丁目15番12号

TEL 072-330-8000

⚠ 警告 サイドエアバッグについて

■SRSサイドエアバッグ装備車にシートカバーを装着される場合、正しい適合に合ったシートカバーを正しく装着出来ていないと、衝突時などにサイドエアバッグが正常に作動せず、重大な傷害を負うか、最悪の場合死亡につながる恐れがあり危険です。

※サイドエアバッグの対応基準は、正式な安全基準が無いため（※2024年3月現在）弊社独自の安全基準を設けております。

本製品は1列目背もたれの両横部分とSRSサイドエアバッグ展開部分に、SRSサイドエアバッグに対応した縫製系を使用しています。（SRSサイドエアバッグの有無に関わらず全製品）

その部分は他の部位に比べて縫製系が切れやすくなっています。装着時には過度の力がかからないようご注意ください。

⚠ 注意 ⚠

サイドエアバッグが装備されているシートでは、シートカバーの装着が正確にできていないと、サイドエアバッグが開かない可能性があり、危険です。シートカバーの装着は説明通り、正確に行ってください。

ここからはサイドエアバッグ装備車にシートカバーを取り付ける際、注意する点を説明しています。



1 SRSサイドエアバッグ展開部分は、シートの表面と側面の境界線に位置し、図の縫い目に配置されます。



3 サイドエアバッグの展開部分と、シートカバーのSRSサイドエアバッグに対応した縫製系を使用している縫い目の位置（以降SAB対応の縫い目部分）を合わせます。※シートのサイドエアバッグ展開部分にはシートカバーの縫い目が必ず存在します。その縫い目はSRSサイドエアバッグに対応した縫製系を使用しています。



2 シートを上から見た状態です。通常、サイドエアバッグ展開部分はシート表面と側面の境界に位置し、一般的には角ばった形状をしています。サイドエアバッグ展開部分はその角の頂点に位置します。



4 シートカバーをシートに取り付ける際は、シートカバーを半分ほど裏返し、シートのサイドエアバッグ展開部分とカバーのSAB対応の縫い目部分を合わせてから、カバーを装着します。



- 5 4番の図を拡大したものです。シートのサイドエアバッグ展開部分と、シートカバーのSAB対応の縫い目部分を合わせてください。



- 6 シートカバーをシート全体に取り付ける際は、5番の位置がずれないように、カバーをシート全体にかぶせます。



- 7 説明書に従って、シートカバーを正しく取り付けます。サイドエアバッグ展開部分とSAB対応の縫い目部分が合っているか確認します。



- 8 まず、シートの表面の中央と端の境目になる縫い目を指で押して、シートのくぼみにカバーの縫い目がしっかりと合っているかを確認します。



- 9 次に、シートカバーの表面側と側面側の生地を図のように引き伸ばし、カバーのSAB対応の縫い目部分が、サイドエアバッグの展開位置となる角ばった形状（2番参照）の角に位置することを確認します。この位置が合っていれば、シートカバーは正しい位置に装着されています。SAB対応の縫い目部分が側面側にずれていたりすると、サイドエアバッグの展開部分と位置がずれていることとなります。位置が合っていない場合はカバーの装着をやり直してください。



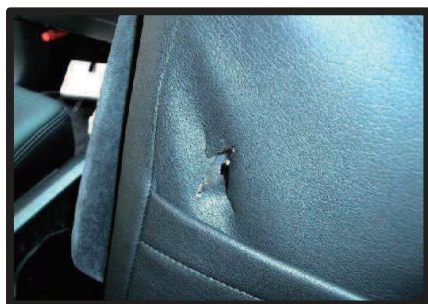
- 10 正しくシートカバーを取り付けることで、サイドエアバッグがシートカバーから正常に展開します。

コンビニフックについて

一部車種の1列目背面にあるフック部分は穴あけ加工がされておりません。フックがネジで固定されている場合、カバーを加工すれば使用することが可能です。



- ①ネジを外します。ツメで固定されている場合がありますので、取り外しには十分ご注意ください。ツメが破損すると元通りに取り付けられなくなる場合もあります。



- ②背もたれカバーを取り付けます。シート本体とカバーがずれていないかをよく確認した上で、フックの位置に切り込みをいれます。



- ③切り込み部分にフックを取り付けて完成です。

1 列目座面

注意事項 写真にはサンプル時のカバーを使用していますので、仕様が異なる場合があります。



①サイドエアバッグ装着車はカバーを取り付ける前に、背もたれから座面裏に回り込んでいる部分を外します
図の部分は座面裏にフック2ヶ所で留まっています。



④カバー側面の生地を、シート側面のプラスチックカバーの中へ入れ込みます。



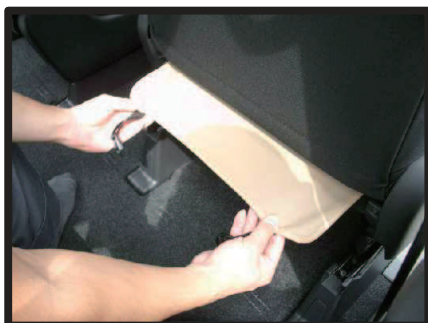
②カバーの側面を裏返すようにして、シートのラインに合わせ、かぶせませす。



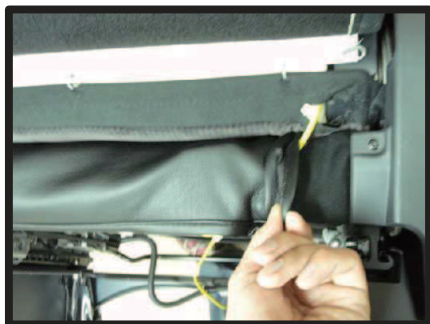
⑤背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。



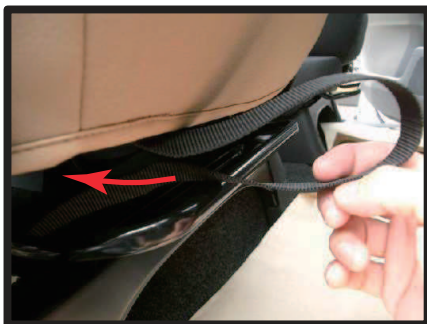
③シートのラインに注意しながら、カバーをかぶせませす。



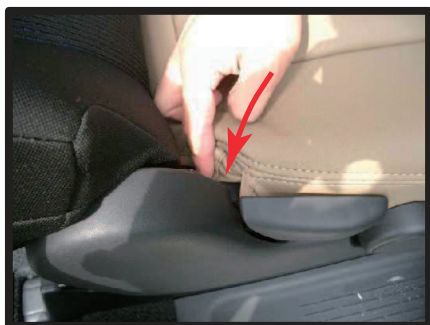
⑥入れ込んだ生地を後ろ側へ引き出します。



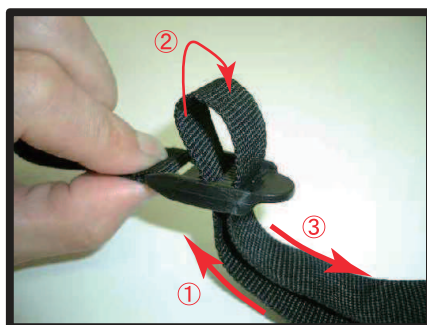
⑦サイドエアバッグ装着車は入れ込んだ生地を引き出す際は、サイドエアバッグ用の配線を切らないように注意し、生地を内へよけながら引き出して下さい。



⑩カバー前面にあるベルトは、シートスライドバーをかわしてシートの後ろ側へ出します。



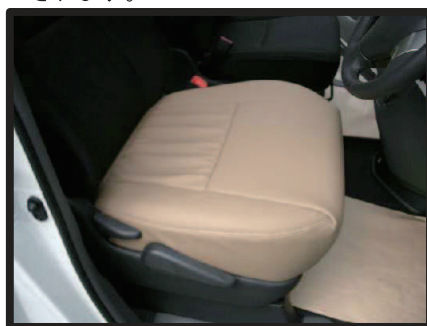
⑧矢印部分の生地を、図のようにシートの隙間へ入れ込みます。



⑪カバー背面にあるバックルにベルトを通します。図の①～③の順番に、バックルにベルトを通した後に、ベルトを引く事でカバーの前後が固定されます。



⑨生地を隙間に入れ込むと、このようになります。



⑫カバーの表面のラインを整え、1列目座面の完成です。助手席側も同様に取り付けます。

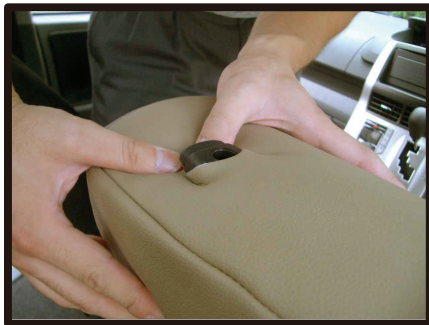
1 列目背もたれ

⚠ 注意 ⚠

サイドエアバッグ装着車の装着方法は、表紙から4枚目と5枚目の『警告：サイドエアバッグについて』と『注意』の装着説明を併せて確認し、正確にシートカバーを取り付けてください。



①背もたれのカバーを付ける為に、始めにアームレストを取り外します。キャップを外し、ラチェットレンチ等を使いアームレストを取り外します。



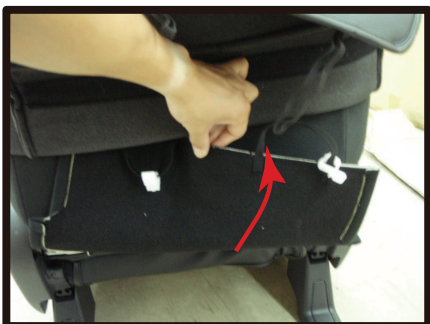
④ヘッドレストの台座部分は、図のように片側を先に通し、生地伸びを利用して穴から取り出します。



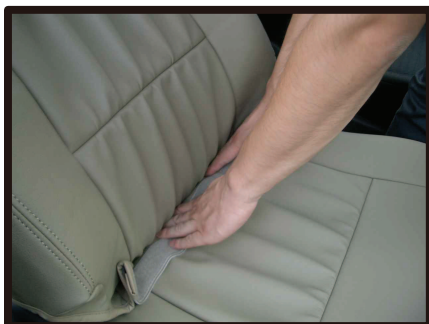
②背もたれのカバーは、半分ほど裏返した状態でシートにかぶせていきます。この時、カバーの肩口までしっかりかぶせてください。



⑤台座部分を取り出すと、このようになります。



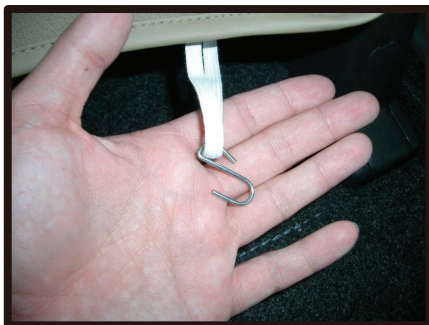
③サイドエアバッグ装着車は、背もたれから座面裏に回り込んでいる部分を、矢印の方向にめくり上げてカバーの内へ入れ込みます。



⑥背もたれの前側の生地を、背もたれと座面の間に入れ込み、背もたれ裏面から引き出します。



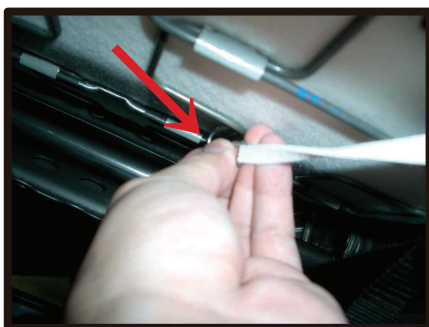
⑦①～③の順にカバーをシートに馴染ませるように形を整えます。



⑩図のように、ゴムにS字フックを取り付けます。



⑧④で引き出した生地を、背もたれ背面の生地とマジックテープで固定します。



⑪生地を座面の下に潜り込ませ、座面下の金具にS字フックを引っ掛けます。

⚠ 注意 ⚠
 サイドエアバッグが装備されているシートでは、こちらの固定が正確にできないと、サイドエアバッグが開かない可能性があります。危険です。

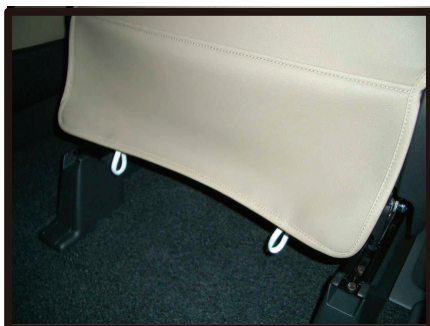


⑫S字フックで固定すると、このようになります。

サイドエアバッグ装備車は、サイドエアバッグの展開部分とシートカバーのSAB対応の縫い目部分が合っていることを確認して下さい。

カバーのラインを整え1列目背もたれの完成です。

助手席側も同様に取り付けます。

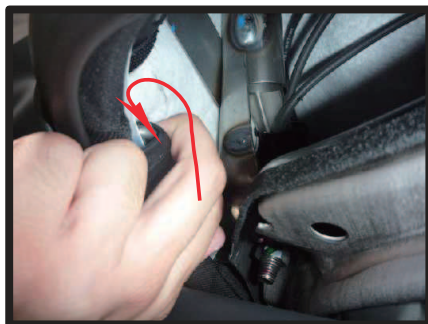


⑨背もたれ背面に延長した生地は、背もたれから座面にかけて覆う為の生地になります。

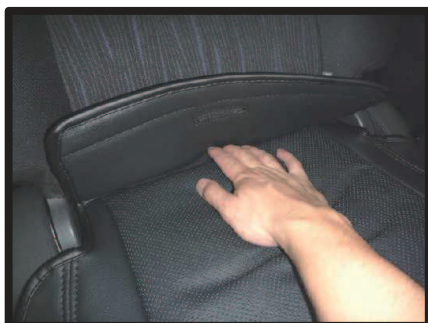
2列目運転席側座面



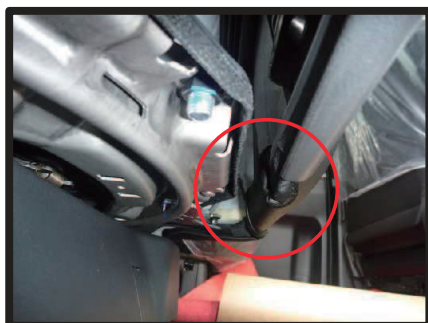
①座面カバーを前側に引っ掛けるようにして、後ろ側へ引っ張るようにかぶせます。カバーをシートのラインに合わせます。



④巻き込んだ生地のスポンジ部は、シート裏にある金具に、矢印のように入れ込み固定します。スポンジ部を完全に中まで入れ込んで下さい。



②背もたれと座面の隙間に生地を入れ込み、後ろ側から引き出します。



⑤正しく固定すると、図のようになります。隙間が狭く作業がしにくい場合は、シートを回転させると、隙間が広がり作業がしやすくなります。



③カバー前側のスポンジを巻いた生地を、シートの裏側へ矢印のように巻き込みます。

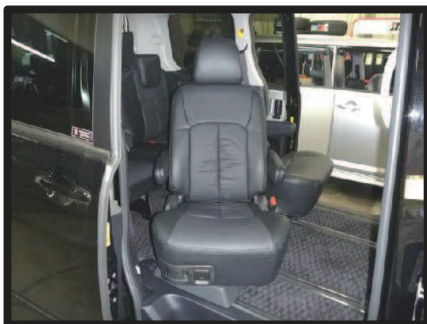


⑥カバー両側面の生地をシートのプラスチック部に入れ込みます。カバーに付いているプラスチック部は、ヘラ等を使用し入れ込みます。

2列目運転席側背もたれ



⑦シート前側にある、レバー部に生地を入れ込みます。



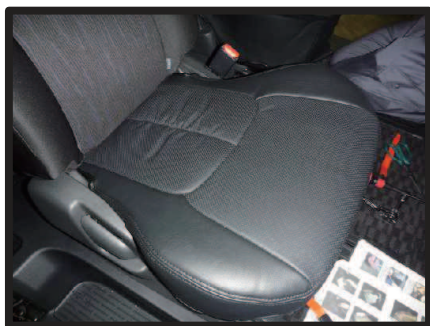
①2列目運転席側背もたれカバーの装着は、一部形状の違いがありますが、1列目と同様に取り付けます。



⑧②で引き出した生地を、シートに直接マジックテープで固定します。



②2列目背もたれには、背面にファスナーがあり、カバーをかぶせた後にファスナーを閉じます。



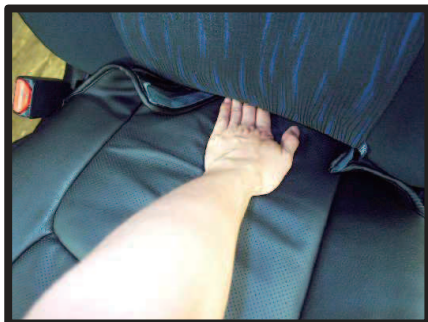
⑨カバーのラインを整え、2列目運転席側座面の完成です。

サイドリフトアップシート（座面）

カバーを取り付ける際、助手席側の車外に十分な広さが必要です。



①シートは車外に出してからカバーを取り付けます。



④座面と背もたれの隙間に生地を入れ込みます。



②座面カバーの側面を折り返し、座面とカバーのラインを合わせます。



⑤入れ込んだ生地を後ろ側から引き出し、マジックテープでシートに直接固定します。



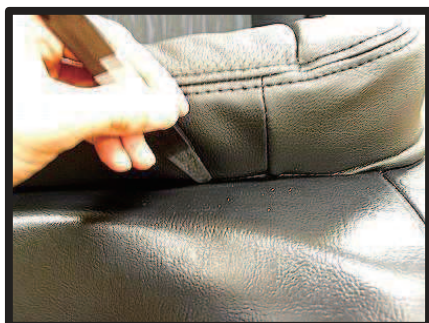
③座面カバーをかぶせます。



⑥側面の生地をヘラ等でプラスチックカバーの隙間に入れ込みます。



⑦側面後方の生地も同様に入れ込みます。



⑧前側の生地も入れ込みます。



⑨サイドリフトアップシート座面の完成です。

サイドリフトアップシート（背もたれ）



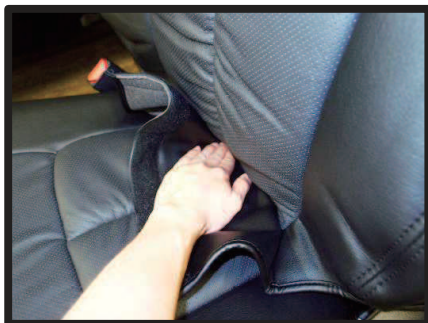
①背もたれカバーをかぶせる前にアームレストを外します。プラスチックのフタを外して中のボルトを外します。



④ハンドル部分のプラスチックカバーの下に生地を入れ込みます。



②カバーのファスナーを開きます。



⑤座面と背もたれの間隙に生地を入れ込みます。



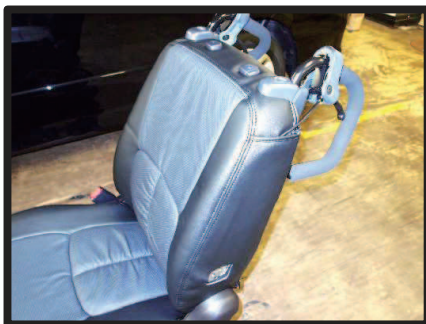
③ヘッドレストの台座を取り出し、肩口を合わせてカバーをかぶせます。



⑥入れ込んだ生地を後ろ側から引き出します。



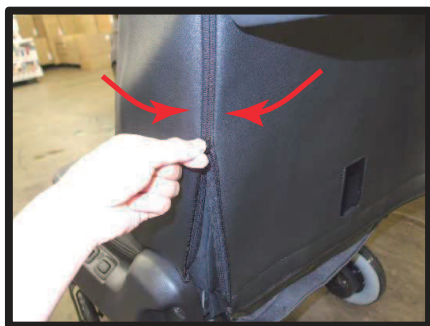
⑦マジックテープで固定します。



⑩サイドリフトアップシート背もたれの完成です。



⑧背面のファスナーを閉じます。
ファスナーの上に付いているマジックテープ（赤丸内）を固定します。



⑨左右の生地を寄せながら引き下げます。

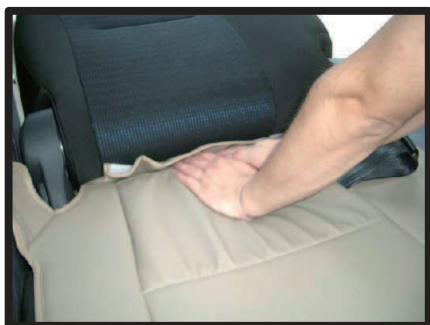
3列目座面



- ①シートの前側に引っ掛けるようにカバーをかぶせていきます。
カバーの穴から、シートベルトを取り出します。



- ④シート吊り下げ用のベルトを、カバー後ろ側の穴から取り出します。
○部の穴は、ベルト固定用スペース用の穴です。



- ②背もたれと座面の間隙に生地を入れ込み、座面の後ろ側へ引き出します。



- ⑤シートを元に戻し、カバーのラインを整えながら、①で引き出した生地をシート裏側の生地と、マジックテープで固定します。



- ③シートを跳ね上げ、カバー側面の生地を図のように、マジックテープで固定します。



- ⑥もう一度シートを跳ね上げ、座面裏のラインを整え、3列目座面の完成です。

3列目背もたれ



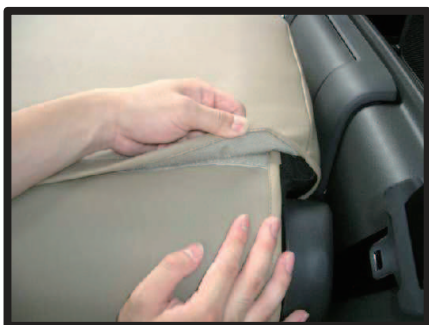
①最初に車椅子用ベルトを外します。
ベルトはカバー取り付け後に元に戻します。



④入れ込んだ生地を、座面後ろ側から引き出します。



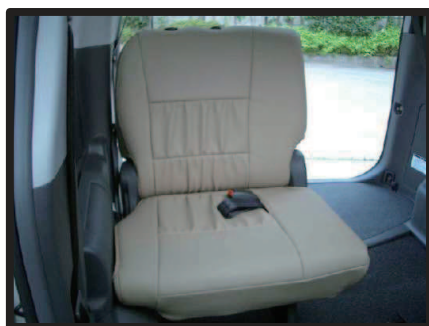
③1列目と同様にシートにカバーをかぶせ、ヘッドレストの台座部分を取り出します。



⑤引き出した生地を、背もたれ背面の生地とマジックテープで固定します。



③背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。



⑥カバーのラインを整え、3列目背もたれの完成です。
助手席側も同様に取り付けます。

ヘッドレスト

注意事項 写真は異なる車種ですが、取り付け方法は同じです。



①ヘッドレストカバーの前後を確認してから、カバーを左右に均等に力を掛けながらかぶせていきます。平らなプラスチック部品が付いている方が前側になります。



④正しく固定すると、図のようにプラスチックの部分が見えなくなるようになります。ヘッドレストをシートに取り付けて、1列目ヘッドレストの完成です。
7人乗りの2列目ヘッドレストも同様に取り付けます。



②ラインを整え、ヘッドレストを台座から取り外します。



⑤8人乗りの2列目ヘッドレストは、前側から引っ掛けるようにカバーをかぶせていきます。



③ヘッドレストの固定は、図のようにカギ状になったフックに平らなプラスチックの付いた生地を巻き込むようにして固定します。



⑥ラインを整え、ヘッドレストを台座から取り外し、1列目と同様にブラックで固定します。
2列目中央ヘッドレストも同様に取り付けます。



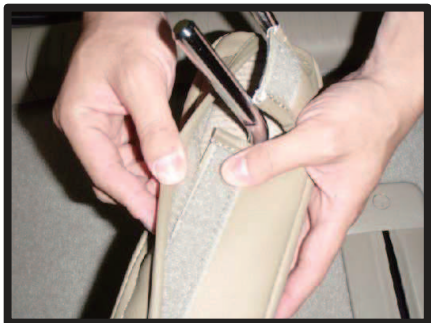
⑦ 3列目ヘッドレストは、台座から取り外し、カバーのゴムの付いた部分をヘッドレストに通します。



⑩ 3列目中央ヘッドレストは、図のようにカバーをヘッドレスト側面に引っ掛けるようにかぶせ、生地伸びとヘッドレスト本体を押しつぶすようにしてかぶせていきます。



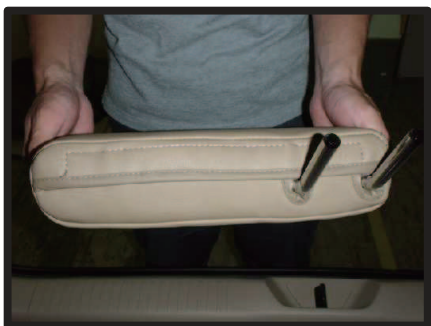
⑧ ゴムの伸びを利用し、カバーを上へずらしていき、カバーをヘッドレストの上側からかぶせていきます。



⑪ カバーをかぶせ、ラインを整えてから、台座から取り出し、マジックテープでカバーを固定します。



⑨ カバーの下側をヘッドレストに引っ掛けるようにかぶせていきます。ラインを整え、プラフックで固定し3列目ヘッドレストの完成です。

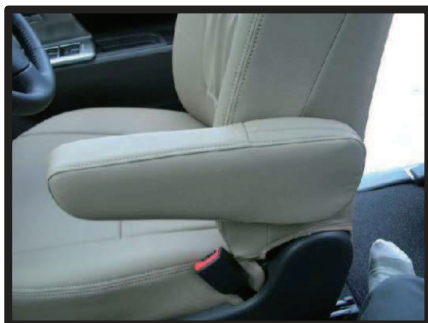


⑫ 正しく固定すると、このようになります。

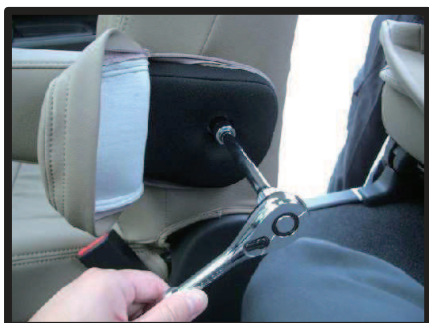
アームレスト



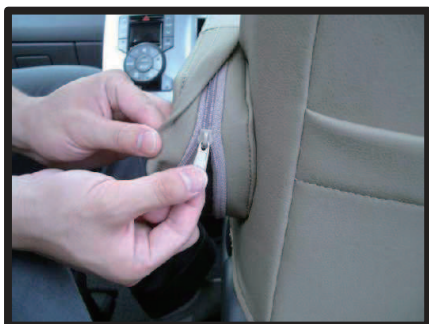
- ① 1列目背もたれカバー取り付け時に外しておいたアームレストに、カバーをかぶせます。先端からしっかりかぶせて下さい。



- ④ アームレストの完成です。
2列目サイドリフトアップシートのアームレストも同様に取り付けます。

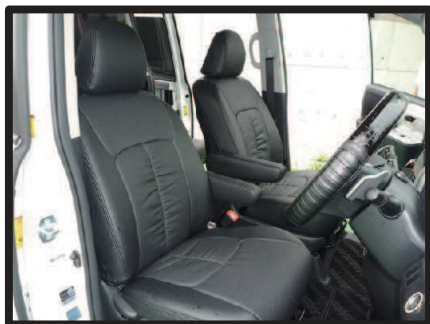


- ② 取り外した逆の手順で、アームレストを元に戻します。
この時、図のようにカバーの生地を半分めくりあげて作業します。



- ③ アームレストを元に戻したら、めくりあげていた生地をファスナーで閉じていきます。

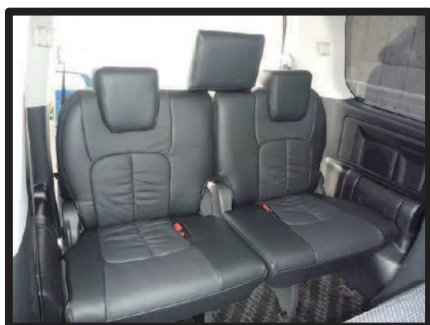
完成写真



1 列目



2 列目



3 列目



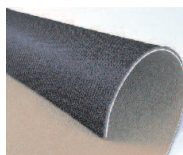


After Service

皆様の快適カーライフのために、安心できるアフターサービス

● 保証・単品パーツ販売・生地の販売

- 1 保証期間であれば、故意でない通常使用における糸切れや生地の破れが生じた場合、無償修理させていただきます。
※一部商品は対象外です。



- 2 シートカバーの補修及び単品パーツの販売をしています。



- 3 シートカバーと同色のソフトBioPVCレザーの販売をしています。
(巾135cm・メートル単位での販売となります)
キルティング仕様の生地は対象外です。

パーツ交換の際、お客様の装着期間や生地の生産時期によって若干の色の違いが見られることがありますので、予めご了承ください。

ご注文・お問合せは

株式会社 イレブンインターナショナル

〒580-0016 大阪府松原市上田8丁目15番12号

TEL 072-330-8000

…> 生地別メンテナンス方法

ウルトラスエード

●ほこりや毛羽などの付着汚れ

エチケットブラシで軽くブラッシングして取り除いてください。

●全体の汚れが気になる場合

40度程度のぬるま湯に染みこませ固く絞った布で全体を拭いてください。乾いたらエチケットブラシで毛並みを整えるようにブラッシングしてください。

この作業は月一回くらいの頻度で行うと効果的です。



本革

普段は柔らかい布でやさしく拭き掃除をしてください。
または、市販されている本革クリーナーをご使用ください。
クリーナーは直接吹き付けるのではなく、やわらかい布などにつけてからご使用ください（クリーナーの説明書に従ってください）。また、使う前に必ず目立たない部分で試し拭きをしてください。万が一変色したり風合いが変わってしまったりした場合、元には戻りません。

⚠️ ご注意

本革は非常にデリケートな素材です。熱や水に弱く、シミができたり変色してしまったりします。水やジュースなどをこぼした場合はすぐに拭き取り、お手入れを行って下さい。長時間放置しておくとも汚れやシミが取れなくなります。表面に積もったほこりは汚れの原因になる為、掃除機でこまめに吸い取って下さい。



PVCレザー

柔らかい布で乾拭きをしてください。
それでも汚れが取れない場合は水、もしくはぬるま湯で薄めた中性洗剤で拭き取り、水拭きをしてから乾いた布で乾拭きして下さい。



ファブリック

●ほこりや毛羽などの付着汚れ

ブラシ等で軽くブラッシングして取り除いてください。

●シミ汚れ

ぬるま湯を入れた容器の中に中性洗剤を数滴入れ、その中に布を浸したら固く絞って汚れ部分をたたくように掃除します。洗剤を入れすぎると泡立ちすぎるので、適度な量にしてください。掃除をした後は、洗剤が残らないようにしっかりと水拭きします。また、水分が残ったまま放置すると汚れやカビの原因となりますのでしっかりと乾燥させてください。

※テニム生地の場合は、拭きすぎると色落ちの原因となります。一度色が落ちると元には戻りません。また、メンテナンス時に発生したダメージに対する補償は致しませんので、予めご了承ください。

